

那須塩原・リンツ

実は、オーストリア人が考えた



子供に人気があるお菓子「ペッツ」

皆さんの身近なところにもオーストリアのものがあ
ります。その一つ目
は、キャラクターの
パッケージで知ら
れているお菓子
「PEZ/ペッツ」で
す。1927年に、オ
バーエスタライヒ
州出身のエドワー
ド・ハース三世が四

角いペパーミント・キャンディーを発明しました。商品名は、ドイツ語の **Pfefferminz** (ペパーミント) の略です。最初は、タバコを吸う人を対象に (タバコの代わりに楽しめるものとして) 販売していたので、1949年には、ライターの形をしたディスプレイのパッケージで販売していました。1952年に米国で売り始めたときには、ペッツが子供に人気だったため、現在のキャラクターの頭がついたディスプレイを考え、ハッカの他にフルーツ味のキャンディーも売り始めました。

二つ目は、エネルギードリンクの「Red Bull」(レッドブル) です。オーストリア人のディートリッヒ・マテシッツが1987年に初めてオーストリアで紹介しました。彼がタイを訪れたときに、「クラテインデーン」というタウリンを使ったエネルギー・ドリンクを知り、そのドリンクを開発したタイ人のチャリアオ・ユーウィッターヤと連携し、ヨーロッパ人の味覚に合わせた「Red Bull」を作りました。



エネルギー・ドリンク「レッドブル」

三つ目は、「デニッシュ」という菓子パンです。世界中で、デンマークのデザートとして知られていますが、デンマーク語では「ヴィナーボズ(ウィーンのパン)」と言います。1850年頃に、オーストリアのパン職人がデンマークに行き、17世紀からオーストリアで知られていた「Plundergebäck/プルンダーゲベック」を紹介しました。デンマークのパン職人がそれをアレンジして、世界中にデニッシュが広まりました。

姉妹都市リンツ市出身の大学生が紹介するオーストリア

姉妹都市ニュースレター2021年10月号で紹介したハートルさんがインターンシップ期間中に作成したオーストリアの紹介冊子と動画が完成したので、お知らせします。リンツ市と那須塩原市の交流の歴史やオーストリアの雰囲気が良く伝わるので、ぜひご覧下さい。

冊子は、印刷物の他に、データでのダウンロードもできます。



オーストリアを紹介する冊子の「リンツ編」と「ウィーン編」

動画



リンツ編



ウィーン編



那須塩原・リンツ

宮田さんは、2022年4月9日から5月8日まで、旧青木家那須別邸で開催される、「日独修好 160周年を記念した「青木周蔵パネル展」の監修者です。



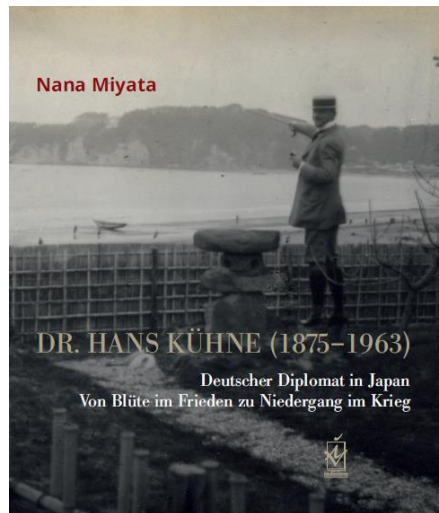
あの人：宮田奈奈さん



「青木の「横顔」、すなわち個人としての側面にスポットライトを当てたいと考えています。」

これまでの活動について：

ドイツ・ボン大学の修士・博士課程で指導して頂いたペーター・パンツァー先生が日本とオーストリア、日本とドイツの関係史の専門家のため、この分野の研究に従事するようになりました。パンツァー先生が監修した日独150周年記念展に特任研究員として参加してから10年の間に、それらの分野に関する史料集などを主にドイツ語で7冊出版しました。



2019年に出版した本「ドクター・ハンス・キューネ」にはハナとハッツフェルト伯爵と友人関係にあったハンス・キューネの写真アルバムで青木周蔵の写真も紹介されます©オイレンプルク家

青木周蔵関係の研究について：

青木周蔵は外交官、政治家としての活動で広く知られていますが、私に関心を寄せているのは彼の卓越したドイツ語の運用能力と自伝の「個人主義論」に見える、先に紹介したゲーテの思想にも通じる世界市民としての個人という思想、そして娘のハナや孫娘のヒッサに向けた当時の日本人男性としては珍しかったと思われる豊かな愛情表現にあります。日独160周年記念展では、青木がドイツ語で書いた自伝の草稿やハナに宛てた手紙、ハナの回想録やハナのアルバムの写真など、初公開となる資料を紹介することで、青木の「横顔」、

プロフィール
名字：宮田 (みやた)
名前：奈奈 (なな)
出身：和歌山市
居所：オーストリア・ウィーン市
職業：研究者、翻訳家
モットー：支配したり服従したりしないで、それでいて何者かであり得る人間だけが、本当に幸福であり、偉大なのだ。(ゲーテ)

すなわち個人としての側面にスポットライトを当てたいと考えています。

「これから」について：

2022年には1873年ウィーン万国博覧会に関する論集(思文閣出版)、19世紀に活躍した日本研究者のフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトとオーストリアの研究者の間の往復書簡集、青木周蔵の自伝のドイツ語訳(いずれもHerder Verlag)を出版します。その後、ウィーン大学宗教学科で本を一冊英語で執筆し、今後は広く世界に向けた仕事をしていきたいと考えています。



青木周蔵、中禅寺湖の青木の別荘と思われる建物の前で ©シュタイレック城

これからの世界は、自分の個性や得意なことを生かして他者と協働し、新しいものを生み出すことに価値が置かれる世界になると思います。若い方には、自分と他者を等しく大切に、世界に仲間を求めて、あらゆる意味で持続可能な世界を創造する担い手になって頂きたいと思います(私も頑張ります)。

那須塩原・リンツ

生き生きとした姉妹都市関係



那須塩原市民×姉妹都市リンツ市出身の大学生との交流

2021年9月～11月、那須塩原市でオンラインによるインターンシップを実施したフロレンティン・ハートルさんと那須塩原市の市民とのオンライン交流会を開催しました。1回目は、**2021年11月12日**のインターンシップの最終日に国際交流協会の代表と交流しました。2回目は、**2021年12月17日**に「令和3年度那須塩原市中学生海外派遣研修(オンライン交流)」の研修会(左)に参加し、中学生の皆さんに故郷リンツ市を紹介し交流しました。

イベント案内 ☆ オーストリアと姉妹都市リンツ市をもっと知ろう！

①リンツ市との姉妹都市提携5周年記念事業(市国際交流協会主催)：

☞トークイベント：「姉妹都市交流 これからの10年に向けて」(亀井副市長と意見交換)

◆とき：2022年1月16日(日) 午前11時～正午 ◆対象：どなたでも ◆入館料：無料

☞パネル展 ◆とき：※2022年1月15日(土)～23日(日) 午前9時～午後9時30分

どちらのイベントも「まちなか交流センターくるる」にて開催します！ぜひお越しください！！

②日独修好160周年記念事業「青木周蔵パネル展」：

◆とき：2022年4月9日(土)～5月8日(日) ※月曜日は定休日 ◆時間：9時～17時30分

◆場所：旧青木家那須別邸 ◆対象：どなたでも ◆入館料：200円(小中学生100円)

明治時代にドイツの公使を務め、ドイツとゆかりの深い青木周蔵をより深く知ろう！オーストリアのシュタイレック城にある青木家コレクションの中から日本で未公開の資料を紹介します！

文化コーナー：「下の名前」で呼ぶと失礼？



オーストリアで使うドイツ語には、相手の呼び方は「丁寧な表現」と「親しい表現」の二つがあります。

丁寧な呼び方をする時は、一般的に男性用の「Herr(ヘア)」と女性用の「Frau(フラウ)」を使います。これは日本語の「さん」に当たる言葉で、名字の前につけます。例えば、モーツァルトの場合は「Herr Mozart」です。特に、初めて会った人、先生、職場の上司やお店のお客さんなどに対して使います。

一方、親しい呼び方をする時は、下の名前を使います。子供、年下の人、友達、家族に対して使います。

他にも日本語の「あなた」のような代名詞に当たる言葉は、丁寧な「ジー(Sie)」と親しい「ドゥー(du)」があります。

初めて会った人に対しては、丁寧な呼び方をします。しかし、二

つの呼び方の使い分けは、地域や仕事の業界、個人の性格などによって、感覚が違うこともあります。例えば、スポーツ業界では、初めて会った人であってもほとんど「ドゥー」を使います。そのため、不安な時や「ジー」は堅苦しいと思う時は「ジーを使わなくてもいいよ」と言ったり、「もしよかったら、ドゥーを使いませんか」と言ったり、相手と確認し合って、呼び方を決めます。

那須塩原・リンツ

作ってみましょう ☆ オーストリアの名物「アプフェルシュトルーデル」

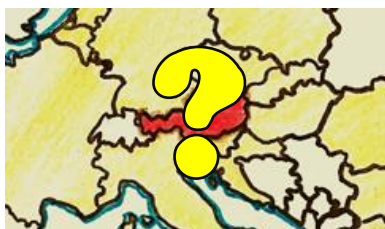
材料:シュトルーデル生地又はパイ生地、バター約 50g、
パン粉（細かい）約 100g、粉砂糖

フィリング:リンゴ 3 個、砂糖 100g、レモン汁、シナ
モンパウダー、（お好みでレーズン、クルミ）

手順: ①バターを溶かす ②約半分のバターでパン粉をフライパンで焼き目がつくまで焼く ③リンゴの皮をむき、スライスする ④フィリングの材料と混ぜ合わせる ⑤パイ生地を麺棒で伸ばし、さらし（手ぬぐいでも OK）の上に乗せる ⑥生地フィリングとパン粉を乗せ、ぐるぐる巻き、両端を閉じる ⑦残りのバターを塗りフォークで穴を開ける ⑧180°Cに熱したオーブンで約 40~50 分焼く ⑨途中で焼き目が黒くなった場合はアルミホイルでカバーする ⑩粉砂糖をまぶす



答えは下



Q: オーストリアの隣国ではない国はどれですか。

A: ドイツ

B: イタリア

C: フランス

D: ハンガリー

地方
ニュース

首都の中でも楽しめる自然



ウィナー森から見た風景 ©Österreich Werbung, Popp&Hackner

オーストリアの首都ウィーンは、オーストリアの9つの州の1つであり、オーストリアの人口の1/5以上が住んでいます。文化と歴史で知られていますが、実はウィーンの約50%は緑地です。そのうちの約62%は誰でも使える緑地です。「ウィナー森」ではハイキングができます。ウィーンの風景が上から見えるカーレンベルクやレオポルツベルクの山は、バスでも上まで行くことができ、おすすめです。自然保護地域の中にあり自然に囲まれて野生動物を見られる「ライントア動物園」のほか、ウィーンの風景や「ヘルメスヴィラ」というハプスブルク家の旧別荘にある博物館も見どころです。フロリンのおすすめです。



州：ウィーン州 (Wien) = 州都：ウィーン市 (Wien) ♥

人口：約 1,920,949 人 ♥ 面積：約 415km² ♥

発行：那須塩原市役所企画部秘書課都市交流係（担当：フロレンティーネ・ロンニガー）

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2

TEL: 0287-62-7324 FAX: 0287-63-1240 Eメール：hisho@city.nasushiobara.lg.jp

バックナンバー・ドイツ語・英語編：



<https://www.city.nasushiobara.lg.jp/soshikikarasagasu/hishoka/shiminsankaku/1/3/4240.html>

検索 那須塩原市海外姉妹都市ニュースレター



クイズの答え：
C